

株式会社 松屋 2015年12月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	5.4	-1.5
② 銀座店	6.1	-2.3
③ 浅草店	-2.1	0.0

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
銀座本店	6.7	16.6	-6.0	40.8	27.8	26.8	29.1	35.2	20.2	16.4	5.3	5.4
松屋銀座	7.6	17.9	-4.8	44.7	30.4	29.8	32.9	39.5	22.0	18.2	6.4	6.1
松屋浅草	-2.7	1.1	-17.5	3.3	0.2	0.1	-5.6	-5.0	-0.2	-4.3	-5.3	-2.1

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店のクリスマス商況は、婦人アクセサリーが活発な動きを見せ、クリスマスケーキは予約・店頭受注ともに好調でクリスマス当日も前年を超える賑わいを見せました。部門別では、婦人部門は前月に引き続き、前年より気温が高かった影響もあり、コート・ストールなどの防寒雑貨が不調でしたが、ニットやワンピースが好調に推移しました。紳士部門は、コート含むアウターの動きがやや鈍かったものの、マフラー・手袋などの雑貨の動きは堅調でした。免税対象売上ににつきましてはインターナショナルブランドや化粧品、時計が変わらず売上を牽引しております。銀座店は、9ヶ月連続で前年を上回ることができました。
浅草店	浅草店は、主力の惣菜・和洋菓子・婦人服が好調も、生鮮三品・化粧品・婦人雑貨が今一步で前年を下回る結果となりました。

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-3.5	-3.5
婦人服・洋品	2.1	2.2
子供服・洋品	14.0	14.0
呉服寝具他	51.8	56.7
衣料品計	4.0	4.2
身廻り品	11.4	11.5
雑貨	0.7	2.6
家具	-8.8	-8.7
家電	-15.4	-15.4
家庭用品	3.9	4.6
家庭用品計	-3.3	-3.0
食料品	2.5	3.4
食堂・喫茶	2.0	2.0
サービス、その他	25.2	25.3
合計	5.4	6.1

商品別概況(銀座店)

*紳士服・洋品は、暖冬の影響を受け、防寒アウターの不調が全体を引き下げました。
 *婦人服・洋品は、暖冬が要因となりコートが不調も、ニット・ジャケットが牽引し売上高は前年を上回りました。
 *子供服・洋品は、国内外のお客様に子供衣料品が好調に推移し、売上高は前年を大幅に上回りました。
 *その他衣料品は、きものが不調も、タオル等その他アイテムが全体を牽引しました。
 *身廻り品は、ブーツ等防寒アイテムが不調も、アクセサリー・ハンドバックが好調に付き売上高は前年を上回りました。
 *雑貨は、化粧品や時計が大幅に売上を伸ばし全体を牽引しました。
 *家庭用品は、和食器が好調に推移するも、その他アイテムが不調に付き売上高は前年を下回りました。
 *食料品は、和菓子・ワインが好調に推移し、売上高は前年を上回りました。

*免税売上については、インターナショナルブランドや化粧品、時計が、今月も大きく売上を伸ばしております。

(特記事項)

*特になし。